



かとう みえこ  
**加藤 美江子**

こうめいとう きいんだん  
**公明党議員団**

**無年金者の請求もれを防ぐ対策を**

**問** 年金を受給するために必要な期間（保険料を納めた期間や免除された期間等）を、25年から10年に短縮する改正年金機能強化法が今年の8月に施行され、対象となる方は10月から年金の受け取りが可能となる。

今まで年金が受給できなかった方や高齢等で自分では判断できない方に対して、年金の請求もれを防ぐ対策は。

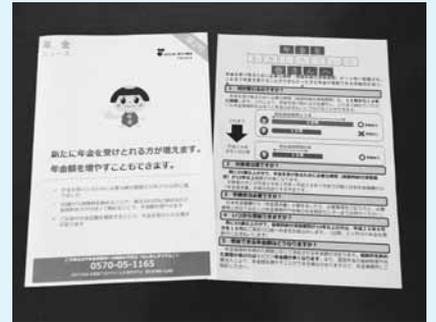
**答** 対象となる方には、日本年金機構より、平成29年2月末から7月まで、順次請求手続きの案内が送付されている。それでも請求がない場合は、同機構から手続きを促す勧奨通知の送付が予定されている。

津市においても、ケーブルテレビや広報ツールなどを活用した請求もれ防止の広報を行うとともに、介護保険課や高齢福祉課など市内の関係部署や、介護施設など外部の関係機関との連携をとりながら、請求手続きの助言ができる体制づくりに努めていく。



●その他の質疑・質問●

- 障がい者雇用について
- 障がい者と高齢者が共生できる社会について
- 病児・病後児保育事業の進捗状況について しんちよく
- 病児・病後児保育の送迎について
- 「部活動指導員制度」について
- がん教育の進捗状況について



▲年金保険料納付済期間が25年から10年に短縮



さとう ゆうき  
**佐藤 有毅**

いっしんかい  
**一津会**

**名松線利活用の推進を**

**問** 全線運行再開から1年が経過したが、被災前と比較して、家城駅・伊勢奥津駅間の利用状況の変動は。

また、無料臨時バスの運行による効果は。

「名松線沿線おもてなし巡り」について、パンフレットの配布状況とおもてなし実績の一例は。また、最寄り駅から遠い加盟店までの交通アクセスについての対応策は。

**答** 運行再開後の当該区間の1日平均利用者数は約180人で、被災前の約90人から倍増となっている。平成29年度のゴールデンウィーク期間中の無料臨時バス運行時間帯における名松線乗降客数は、延べ1,510人で、そのうち当該バス利用者は延べ835人であった。この期間中、道の駅美杉では、1日当たりの利用者数が、通常期の週末利用者数142人の約2倍にあたる270人であった。7,000部作成したパンフレットは、掲載店舗や津市観光協会、松阪市観光情報センターで配布しており、津市伊勢奥津駅前観光案内交流施設ひだまりでは、これまでに137件の利用があった。駅から遠い加盟店へは、店舗独自の無料送迎バスや市のレンタサイクルをご利用いただいている。

●その他の質疑・質問●

- 平成29年度津市一般会計補正予算（第1号）歳出土木費
  - 車両購入費について
- 津市の農林水産物利用促進の取り組みについて
  - 津ぶっこ（津ブランド化推進品目）、伝統野菜、郷土料理
- 「スポーツ・文化都市」宣言のまちづくりについて
  - 津市の魅力を活かしたスポーツ合宿 など



▲「名松線沿線おもてなし巡り」で、名松線利活用の推進を